

TAKURA WATCHING

今月も町の問題が盛りだくさん！



白熱の戦い

7月21日(日)、板倉中学校体育館で板倉町夏季第42回北関東硬式卓球大会が開催されました。真夏の暑い中、太陽の光が試合に支障をきたさないように、カーテンを閉め切って大会が行われました。町内外からおよそ350名の参加者が優勝を目指してしのぎを削りました。



健康寿命を延ばすために

7月26日(金)、東洋大学で介護支援専門員と食生活改善推進員の研修の一環として、地域ケア会議が開催されました。澤田孝子教授さわただかこは講義で「加齢による味覚の鈍化が塩分の過剰摂取につながり、高血圧の一因となります。香りや酸味、スパイスなどをうまく料理に利用し、減塩を心がけましょう」と話されました。



ドリブルシュートが決まった

7月28日(日)、板倉中央公園グラウンドで板倉サッカークラブJr主催の交流サッカー大会が開催されました。東京都を含む関東近県から強豪チームを招き、熱い戦いが繰り広げられました。試合中には大人顔負けのレベルの高いプレーもみられ、少年サッカーのレベルの向上を感じさせられました。



赤ちゃんってやわらかい

8月5日(月)、保健センターで中学生と赤ちゃんのふれあい教室が開催され、15組の親子と中学3年生21名が参加しました。増塩莉万さんますしおりま(岩田)は「赤ちゃんをだっこできたり、いっしょに遊んだりできてとても楽しかった。お母さんたちのお話も聞けて貴重な体験になった」と感想を話しました。



盛大に板倉まつり

8月3日(土)、第29回板倉まつりが海洋センター駐車場を中心に開催されました。ステージではフラダンス、民謡、和太鼓、ダンスなど各種団体の発表が行われ、会場内はみこしやお囃子はやし、山車だしなどが練り歩き、多くの来場者でにぎわいました。中央公民館駐車場では板倉消防団主催の火消祭かしょうさいが開催され、訪れたかたがポンプ車を使った放水体験や、水消火器による放水体験をしました。



また、商工会青年部のオリジナルみこしが今回から新しいみこしとなりました。本体部分の4面に絵などが入るようになっています。今回は板倉まつりポスター図画コンクールで最優秀賞に選ばれた作品と青年部長賞の2作品、青年部作成のオリジナルエンブレムなどが入り、みこしの上部には電飾加工がされ、まつりに華を添えました。まつりのフィナーレを飾る打ち上げ花火では、夏の夜空を彩る大輪に大きな歓声があがり真夏の祭典は盛大の内に終了しました。



新潟の板倉に行ってきました

8月10日(土)、11日(日)に、新潟板倉・群馬板倉子ども会交流会が行われました。今年度は群馬県板倉町の子どもたちが新潟県上越市板倉区を訪れました。トレッキングや、バーベキューに加え、小さなトランポリンの上で運動をするトランポビスクというスポーツにも挑戦しました。夜もいっしょに温泉に入ったり同じ部屋で宿泊したりと、楽しい2日間になりました。